



2024 年 1 月 5 日  
社会福祉法人清流  
さつきの家  
施設長 小川裕子

## 「さつきの家」だより

### 謹 賀 新 年

あけましておめでとうございます。幕開けとともに、地震・航空機事故・大規模火事と、毎日夕方に何か事件が起きるといふ 3 が日でした。この奇想天外なスタートとなった令和 6 年（2024 年）。こんな時、私たちはどうしたら良いのでしょうか。

さつきの家バージョンで、想像してみました。例えば、カンシャクを起こした仲間がいる時、周りのみんなはどうしたらいいか…。誰にだって挫けて荒れてしまうことはある。決して他人事ではない。「そんな時、みんなに、どうしていてもらいたい？」と、問えば「そっとしておいて欲しい。」と、みんなは言います。そうだね。マイナスの想いを大きくしないように、動じず、穏やかに今、自分にできることを淡々としていたらいいんだよね。「さつきの家」のみんなは、思いやりのある‘そっと見守ること’が出来ます。この人たちの行動に学ばされます。人としての在り方を知っている人たちです。

災害時に、弱者は弱いです。老人・赤ちゃん・病人・そして障害者。いざとなったら、どうしたら良いのか、わが身を照らして、みんなで備えておきたいとも思います。なるべくいつも通りの生活が出来るよう、さつきの家での備えの点検をしておきたいです。そして、アピールします。「助けてください！」その時に、よし！と手を差し伸べてくださる地域の身近な人をもっともっと広げておきたいです。

だから今、被災者の皆様に対して、何をしたら良いのか見つけられない時は、ここで、みんなで落ち着いていたいです。その柔らかな想いは必ず届くと信じて。

一人ひとりの力は、小さいけれども、集まれば大きな力が湧いてくる。人としてこの人生を生きていくためには、小さく低く貧しくあることが大切です。謙虚であり、欲を求めず貧しくあろうとすると、本当の豊かさは何なのかと気づけます。「さつきの家」の仲間たちを中心に、この子らを世の光として大切に、令和 6 年も過ごしていきたいです。

## お誕生日おめでとう♡三輪田悠生くん 20歳

悠生くんが、心の扉を自ら開いています。それまでは、よくわからないな、という場面では、目をつむって自分を守っていたけれど、自ら目を開いて状況を把握する時間が長くなりました。若い支援員とは、対等に接しているようです。たくさん声を出して、おしゃべりをして、コミュニケーションを楽しんでいます。二人介助での移動を継続させていますが、身体の中真ん中に力を入れて協力しています。あなたに出会って20年。その耳でたくさんのお話を聞き止め、目で状況確認をし、その笑顔で自分の思いを伝えてくれています。さあ、これからも健康に留意し、仲間の中で、元気に青春！20歳を楽しみましょう。

### 保護者へのお願い

今年もどうぞよろしくお願いいたします。綺麗に洗濯された衣類・毛布・車イス等、ご協力ありがとうございます。新たな気持ちで、一日いちにちを積み重ねていきましょう。お休みのあとのみんなの表情の明るさ、ご挨拶に心満たされました。♡

- ◎ 「僕らのアトリエ in アステール」で、さつきの家の自主製品を販売します。  
1月18日（木）10時～17時 JMS アステールプラザ1階市民ギャラリーです。  
市立特別支援学校の生徒さんの展示もあります。初めての参加です。

- ◎ 「さつきの家でのパン販売」は、1月19日（金）です。

※いつもご協力をしてくださり、ありがとうございます。

- ◎ リハビリテーション計画書（1月1日）を持ち帰ります。一部は家庭用、もう一部は、サインをして封筒に入れて、「さつきの家」に提出して下さい。

※不明な点、疑問点等、小川にまでお伝えください。

- ◎ 「さつきの家だより」は、地域みなさまに理解していただきたいという願いを持って、定期的に発信・HP掲載してきています。（今は、まだ配布は保護者のみです。）

連絡先：社会福祉法人清流「さつきの家」 082-942-4778（電話）

082-942-4779（FAX）

satsuki-himawari@galaxy.ocn.ne.jp（メール）